



YMCA

大阪青年

2005 Mar.3

No. 570

月刊 TheYMCA 付録
編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地
大阪青年 発行: 錦織 一郎 編集: 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297
URL: http://www.osakaymca.or.jp/
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

2004年度大阪YMCA年間聖句

「強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。」(コリントの信徒への手紙 16章13-14節)

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神を高く、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びと力を合わせ、環境、人類、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。



徳島YMCA野外活動の風景

愛と信頼のまなざしを

「まなざしがあれば生きられる」という言葉があります。人は、自分に向けられている愛と信頼のまなざしに気づいた時、どんな苦労にも耐えられるというのです。

マザー・テレサは、ただ辛苦のみの人生の末「死を待つ人の家」に横たわる人々に

「あなたは神様に望まれて生まれてきた大切な人なのです」と語りかけました。その言葉に人々は笑みを浮かべて死んでいったといいます。

YMCAが育てようとしている力強い子どもとは、どんな困難に出合っても希望を失わず、前に歩み続ける子どもです。

希望とはなんでしょうか。それは、未来の可能性を信じることです。自信とはなんでしょうか。それは、自らの可能性を信じることです。

愛は力です。信じることは力です。何も、誰も信じられなくなったり、人は希望を失い、力を失ってしまいます。

今の子どもたちの不幸は「容易に人を信じてはならない」と繰り返し教えられ、またそうせざるをえない世相にあることです。

人は愛されることによって愛することを知り、信じられることによって信じることを学びます。

だからこそ、集いくる子どもたちが、成功しようとも失敗しようとも、その子どもたちが変わらず愛と信頼のまなざしを向け続けるYMCAの使命は大きいのです。

学校法人大阪YMCA理事 西村 耕

地の塩

▼多くの若人たちにあって、卒業と入学への期待の時を迎える。一人ひとりの希望が膨らむことを願いたい。「4月は残酷極まる月だ」とは二十世紀を代表する詩人T・S・エリオットの『荒地』の書き出しである。3月に、希望と喜びを経験する若人が多くいるとともに、他方このエリオットのことは、挫折のなかで思いを寄せなければならぬ者も少なくないであろう▼教育は人をより豊かにすることを求めて行われる。現在の私に何かをプラスすることによって、より豊かな生き方を得ることができると考える。教育を支える社会も現在に何かをプラスすることによってより豊かに、より良くなると考えている。豊かさを享受する日本の社会のなかで私たちは意味ある生活や生き方はより何かをプラスする豊かさとは比例しないことを感じ取っている▼イエスは「永遠の命を得るには、どんな善いことをすればよいのでしょうか」と問うた金持ちの青年に「もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい」と答えておられる。持てるもの、私を飾っているものをすべて捨て去ったあとに残る「わたし」を見つめることが新しい命、意味の発見への出発であることが示唆されているように思える▼失敗や挫折の経験は自分を見つめ、わたしの弱さを感じ、見つめることを余儀なくさせる。「萎えた手を、弱くなったひざをまっすぐにしなさい」(ヘブライ人への手紙12章)と語りかける存在を示すことが、人間の教育に欠かせない。YMCAの行う子どもから高齢者にわたる教育的な働きが、挫折の経験にかかわらず勇気や希望を与えるものとなることを求めたい。(和)